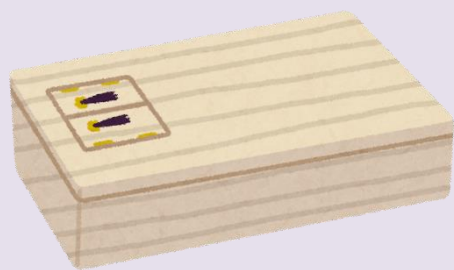


V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

火葬場整備事業 (予算額：約4733万円)

高齢化社会や沖縄市の人口増加に伴い、火葬の件数が増えているため、新しい公営の火葬場が必要となっています。火葬場を建設することで市民の火葬待ちの期間短縮や、火葬費用の負担軽減に繋がるよう火葬場の建設に取り組んでいます。



東部海浜地区開発事業 (予算額：約1億5189万円)

沖縄市泡瀬の沖合で整備が進められている人工島は、「潮乃森（しおのもり）」という地名になっています。

沖縄市では、潮乃森でのスポーツコンベンション拠点の形成に取り組むとともに、県内最大級のビーチを活かしたビーチフロント観光拠点の創出を目指します。

また、ビーチフェスタなどのイベントによる事業PRを図っています。



V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

公共交通活性化推進事業 (予算額：約7296万円)

路線バスは、市民生活の足として重要な役割を担っていますが、自家用車普及などにより、バス利用者が減少し、バス路線の廃止や便数が減るなど、ますますバスを利用しにくい状況になりつつあります。

本事業では、路線バスの利用者を増やすための取り組みを行うとともに、市内のコミュニティバスを運行するなど、市民の生活利便性の向上を図っています。

